

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和5年10~12月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	60事業所
3. 回答率	48.0%
4. 業種別内訳	
製造業	11事業所
建設業	4事業所
卸売業	5事業所
小売業	27事業所
サービス業	13事業所
合計	60事業所

5. 実施時期

令和6年 1月下旬～3月上旬

6. 調査対象期間

令和5年 10月から12月（第3四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

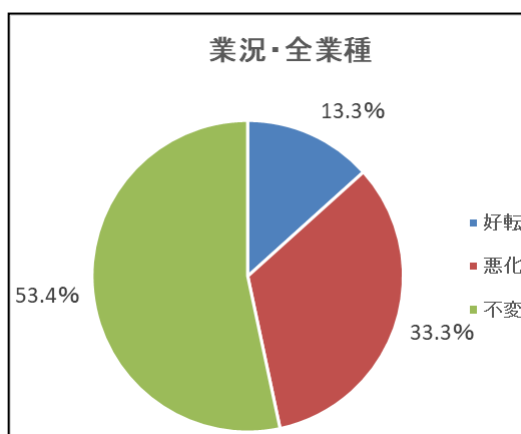
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ. 概況

1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和4年10月～12月）のD I値は▲20.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は13.3%、悪化したと回答した事業所が33.3%、変わらないと回答した事業所は53.4%だった。



令和4年10～12月の前年同期比について、コロナの影響が少なくなり、お客様の来店頻度が増え、売上も増加している事業所がいる一方、物価高騰による仕入価格・人件費の増加による利益率の悪化について回答する事業所も多かった。

その他、消費者の購入単価の低下による売上の低下、人手不足に受注機会の逸失についての回答もあった。

	R4. 10～12 前年同期比	R5. 7～9 前期比	R6. 1～3 見通し
全業種	▲20.0	▲20.0	6.7
製造業	▲27.3	9.1	9.1
建設業	0.0	0.0	▲25.0
卸売業	▲80.0	▲60.0	▲20.0
小売業	▲14.8	▲22.2	0.0
サービス業	▲7.7	▲30.8	38.5

来期見通し（令和6年1～3月）のD I値については、6.7ポイント。

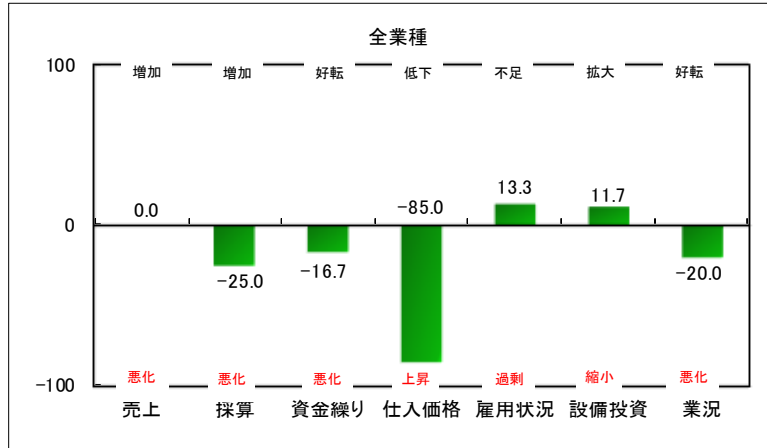
業種ごとでは、製造業とサービス業で好転の見込み。

要因として、年度末による売上の増加を見込む意見が多かった。しかし、人員不足による受注・販売機会の逸失と原材料・人件費の高騰による採算性の悪化について懸念する声があった。

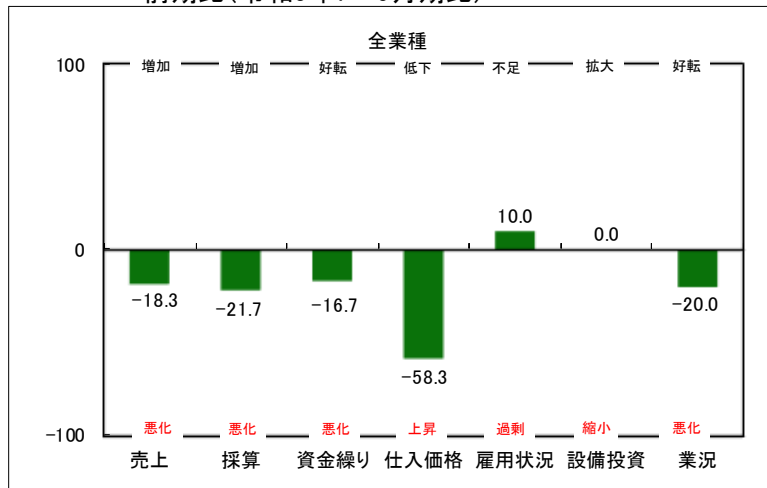
市内景気動向

全業種

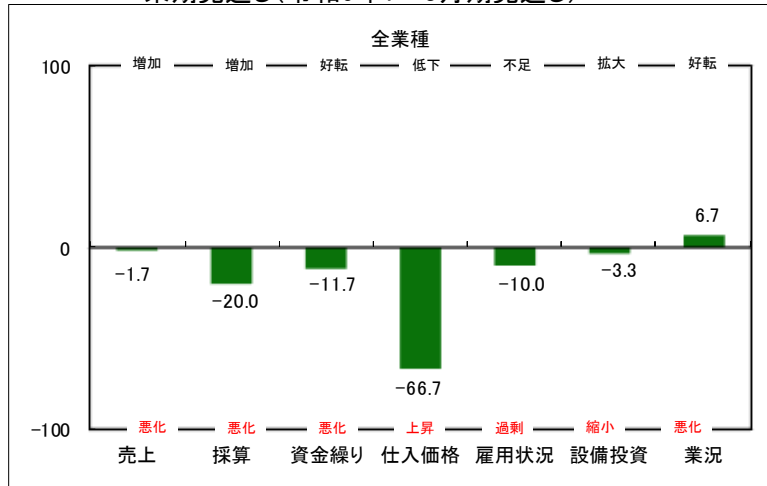
前年同期比(令和4年10~12月期比)



前期比(令和5年7~9月期比)



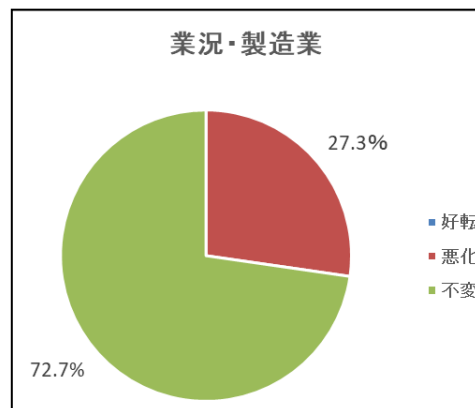
来期見通し(令和6年1~3月期見通し)



2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲27.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、0.0%、
悪化したと回答した事業所が27.3%、
変わらないと回答した事業所が72.7%だった。



来期見通しD I 値については9.1ポイントで、
好転の見通しとなっている。

○主な意見

【食品製造業】

- ・「原材料費の高騰に対して値上げが追いついていない。」

【彫刻業】

- ・「商品に係る運賃の増加。また主要取引先からの受注減。今後も上向く兆しが無い。」

【金属加工業】

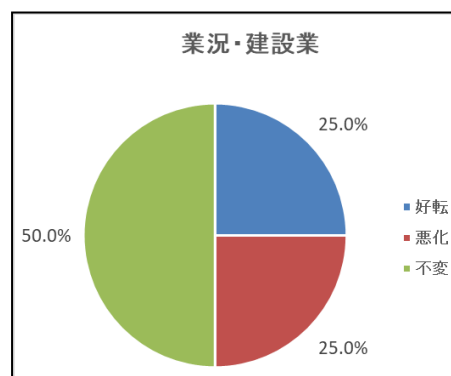
- ・「受注の機会は、増加しているが人員不足のため、受注機会は増加しないが、売上はある程度は確保はできている」

【半導体製造装置用部品加工業】

- ・「半導体不足により、売上が激減。来年の見込みも期待はするが、人手不足で厳しすぎる為、手ごたえが無い。」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は25.0%、
悪化したと回答した事業所は25.0%、
変わらないと回答した事業所は50.0%だった。



来期見通しのD I 値は、▲25.0ポイントで、悪化の
見通しとなっている。

【一般土木工事業】

- ・「従業員が退職して、工事高も下がっている状況。」

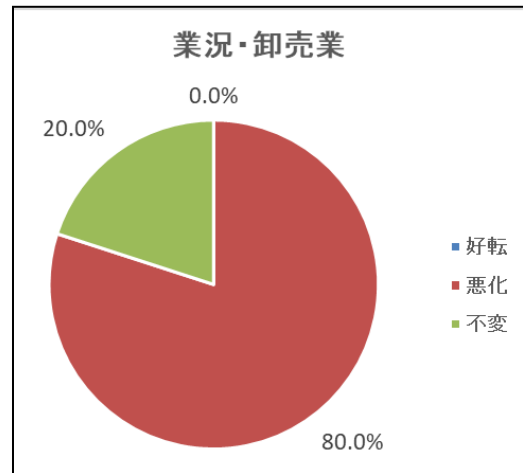
【土木工事業】

- ・「年度末までは増加の見通し。しかし、人手不足による受注量制限。」

③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲80.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、
悪化したと回答した事業所が80.0%、
変わらないと回答した事業所20.0%だった。

来期の見通しD I 値は、▲20.0ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【事務用品・機器販売業】

・「売上が前年同期比で同じ程度であったが、仕入価格の上昇により、業況はギリギリだった。」

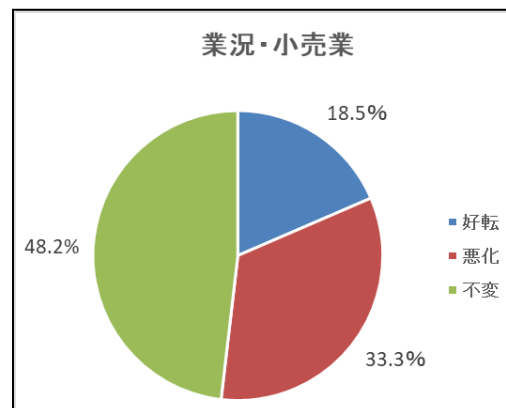
【木材卸売業】

・「取引先方の受注が増加し、売上も増加。」

④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲14.8ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は18.5%、
悪化したと回答した事業所は33.3%、
変わらないと回答した事業所は48.2%だった。

来期の見通しD I 値は、0.0ポイントで、
不変の見通しとなっている。



○主な意見

【家電小売業】

・「年度末から高額のエアコンの買替注文が入り、対応出来なかったため、年明けの売上増加に貢献。延岡市の家電キャンペーンの駆け込みで年初の売り上げとしては、ここ数年の中では上々の滑り出し。」

【生花業】

・「地元生花展の販売が衰退し、数件の花店に注文が集中するようになってくる。弊社もその中の1社として社員の増員、お客様のニーズに対応できるように努力していきます。」

【飲食業】

・「コロナ回復から客足が戻っていない。家族従業員が体調の問題で抜けたため従業員も不足。」

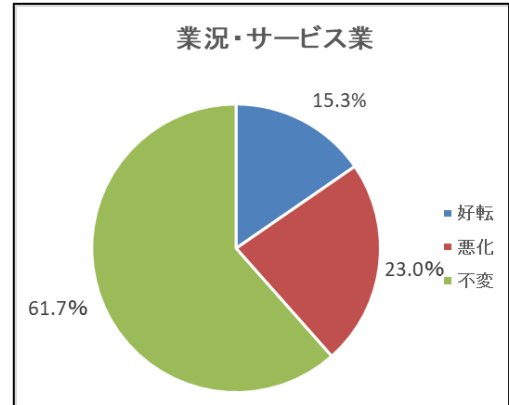
【スポーツ用品小売業】

・「昨年、設備投資した結果、更に外部へ営業範囲を拡げる予定があることと、店舗についても告知を強化し新規顧客獲得と来店頻度を高める期待が持てる為、売上増加を見込む。」

⑤ サービス業の業況判断は、前年同期比のD I 値が▲7.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は15.3%、悪化したと回答した事業所は23.0%、変わらないと回答した事業所は61.7%だった。

来期見通しD I 値は、38.5ポイントで、好転の見通しとなっている。



○主な意見

【自動車整備業】

・「ここ数年の問題になってしまった買い控えにより、ブティック等の売上は減少し、補正も少ない。」

【美容サロン業】

・「広告宣伝費に力をいれてる成果があがってきているが、もみほぐしセラピストが減ったことで思うようにお店をまわせないでいます。」

【美容業】

・「人材育成につき、まだ売上上昇には至らない。働き方改革や賃上げの影響は大きい。」

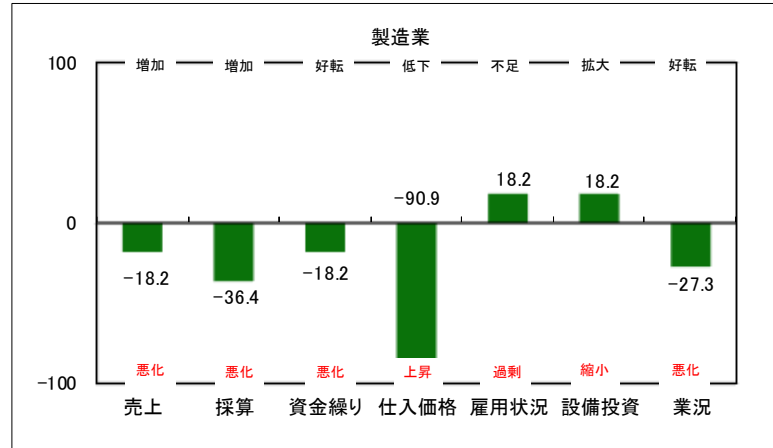
【衣服裁縫修理業】

・「ここ数年の問題になってしまった買い控えにより、ブティック等の売上は減少し、補正依頼も少ない。」

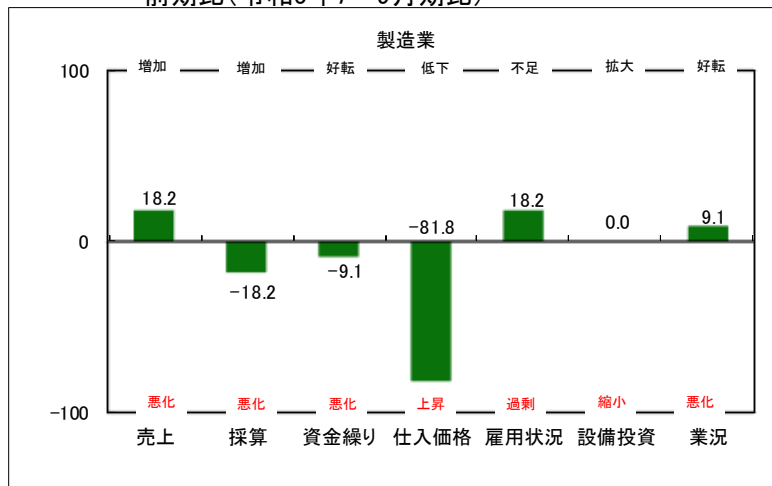
業種別景気動向

製造業

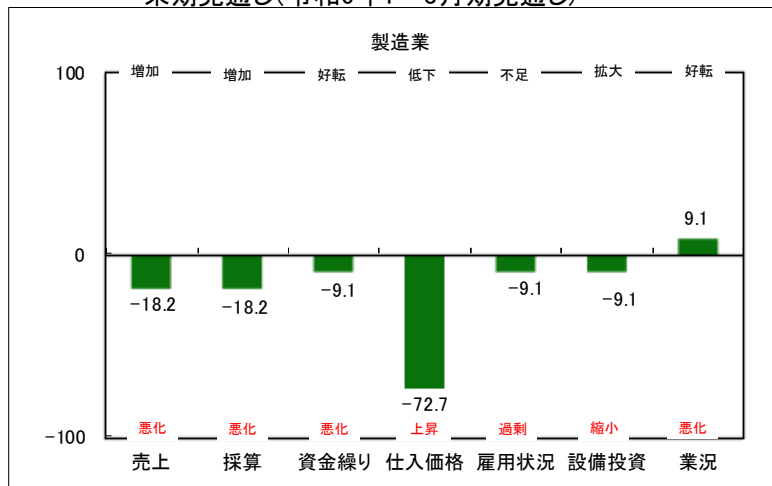
前年同期比(令和4年10~12月期比)



前期比(令和5年7~9月期比)



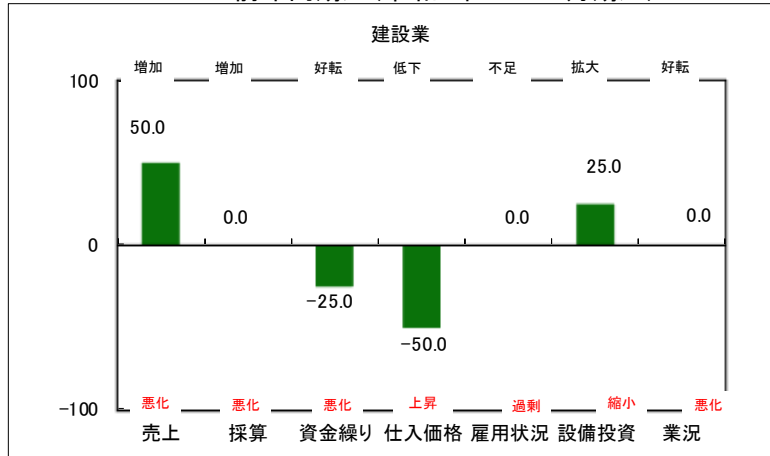
来期見通し(令和6年1~3月期見通し)



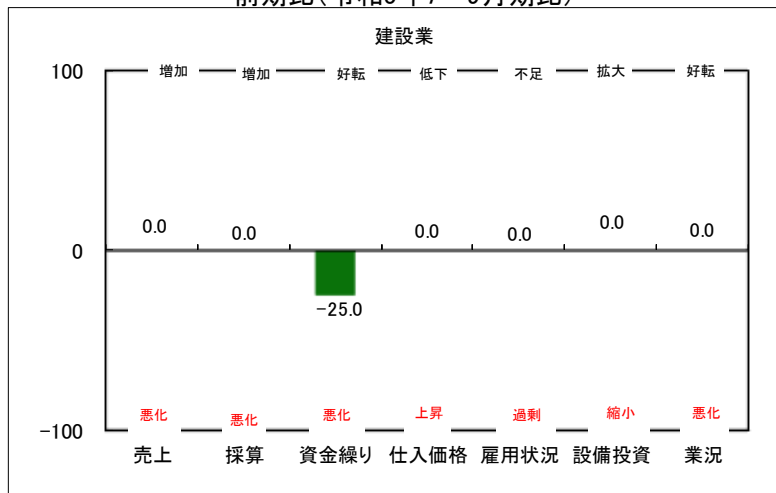
業種別景気動向

建設業

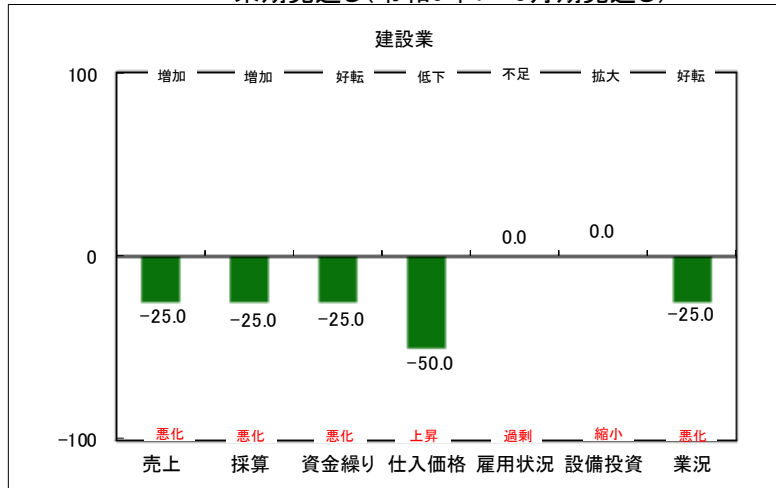
前年同期比(令和4年10~12月期比)



前期比(令和5年7~9月期比)



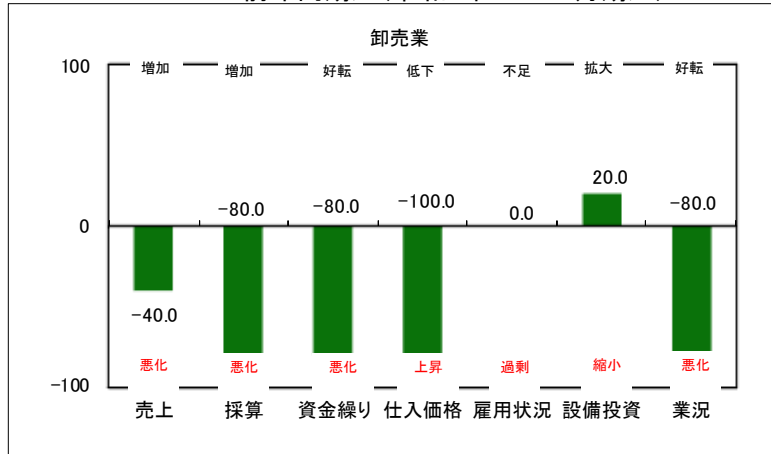
来期見通し(令和6年1~3月期見通し)



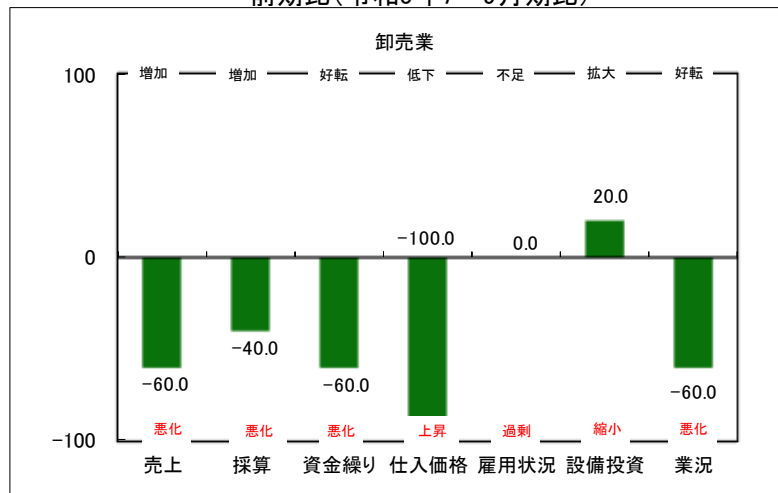
業種別景気動向

卸売業

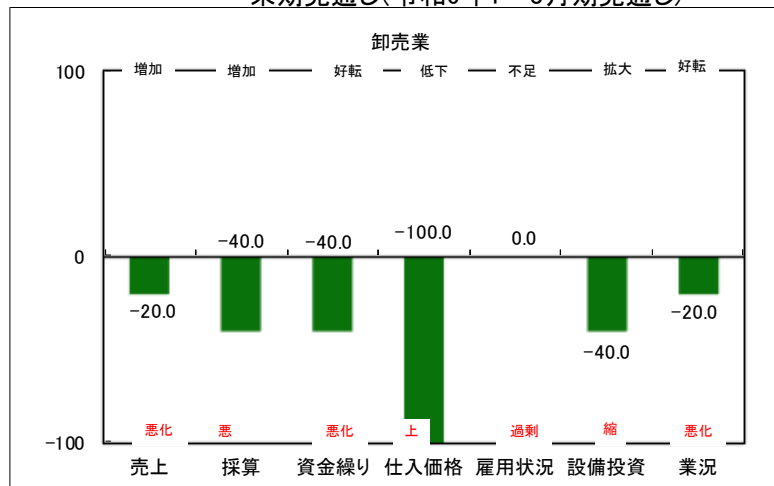
前年同期比(令和4年10~12月期比)



前期比(令和5年7~9月期比)



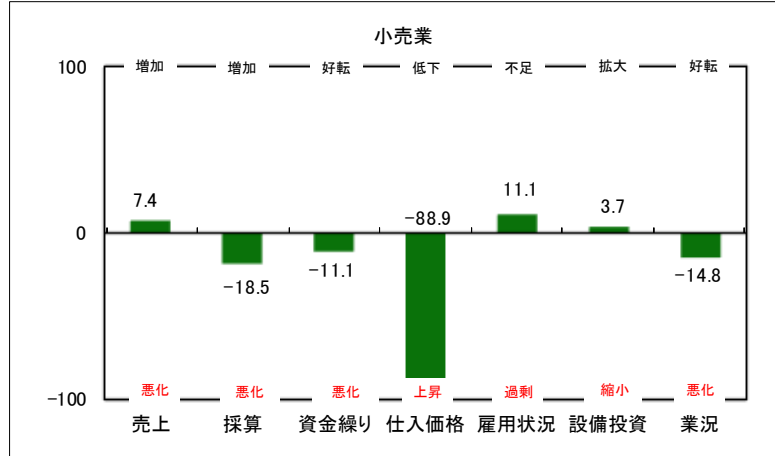
来期見通し(令和6年1~3月期見通し)



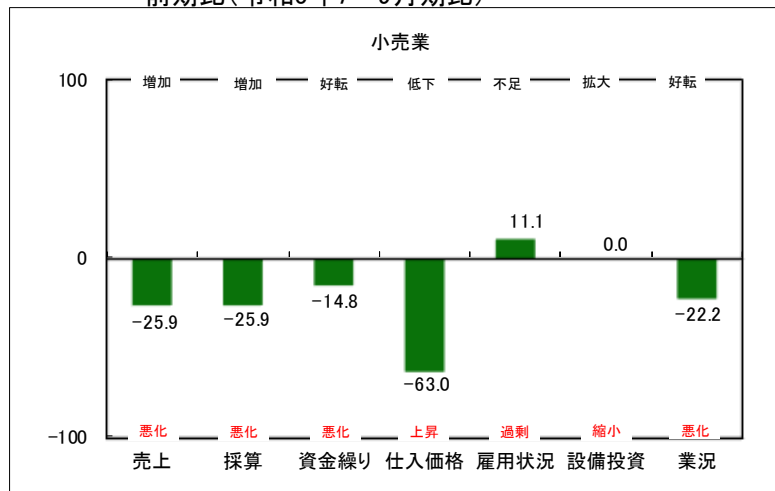
業種別景気動向

小売業

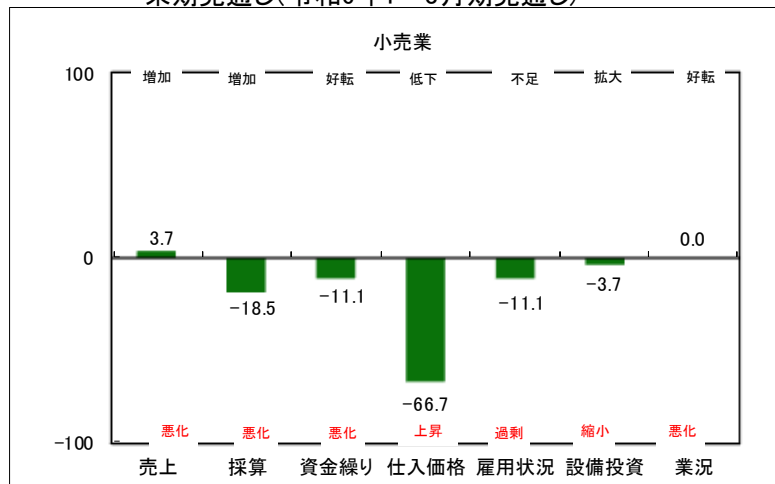
前年同期比(令和4年10~12月期比)



前期比(令和5年7~9月期比)



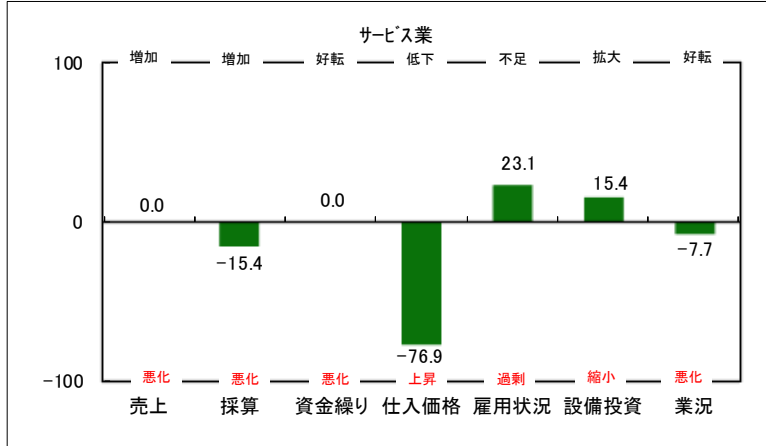
来期見通し(令和6年1~3月期見通し)



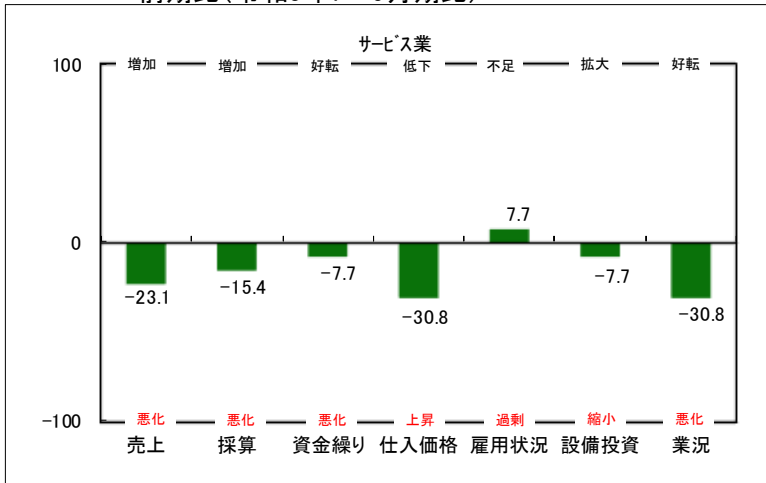
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和4年10~12月期比)



前期比(令和5年7~9月期比)



来期見通し(令和6年1~3月期見通し)

